

## この号の内容 &gt;&gt;&gt; 専門職向け

1. 「看取り」のためのパンフレット作成ワーキンググループの活動について
2. 緩和ケアカンファレンスの参加について
3. 研修会のご案内  
在宅医療各種検討課題検討会①  
第1回多職種研修会



## まちななかラウンジNEWS

## 1. 「看取り」のためのパンフレット作成ワーキンググループに活動について

長崎市と長崎市医師会は、在宅医療・介護連携促進のため、長崎市包括ケアまちななかラウンジを事務局とし、有識者によるワーキンググループを編成して、施設等の専門職向けと市民向けに「看取り」のパンフレットの作成作業を、昨年度から行っています。

「看取り」に関しては、長崎市が65歳以上の市民8,000人を対象に令和5年に実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果、約60%の方が人生の最期を在宅（自宅や施設）で迎えたいと希望していることがわかりました。一方、長崎市が令和4年に実施した「長崎市在宅医療・介護連携実態調査」によると、約70%の医療・介護従事者が在宅で看取りをすることに不安や負担を感じており、その理由として、看取りを行うための知識がないことが大きな割合を占めていることがわかりました。こうした医療・介護従事者の不安の解消やご本人やご家族の理解の向上を図るため、2カ月に1回のワーキングを実施し、今年度中の完成を目指して、長崎年版「看取り」のためのパンフレットの作成に取り組んでいます。

作成中のパンフレットは、OPTIM（緩和ケア普及のための地域プロジェクト）が作成した「これからの過ごし方について」をベースに、終末期の過ごし方のほか、人生会議（ACP）、エンゼルケア、グリーフケア、デスカンファレンスに関する解説を加えています。また、「看取り」に臨む前の準備や心構え、「看取り」後のフォローや癒し等についても記載したいと考えています。多くの市町で「看取り」に関するパンフレットや手引きが発行されていますが、ほとんどがOPTIMの「これからの過ごし方」の挿絵を使っています。長崎版「看取り」のパンフレットでは、挿絵も刷新し、内容もオリジナリティーの高いものを作成したいと考えています。

作成後は各介護施設に配付を予定しています。長崎市のホームページにも公開しますので、ぜひご活用ください。

※ 11月には「看取り」に関することをテーマにした「市民健康講座」の開催を予定しています。

ワーキングの様子



## 「看取り」パンフレットワーキングメンバー（順不同）

後藤 慎一	長崎原爆病院 緩和ケア部長	
土屋 知洋	長崎市医師会理事	ちひろ内科クリニック 院長
山口 達之	長崎市医師会理事	山口内科・循環器内科 院長
奥平 定之	長崎市医師会理事	奥平外科医院 院長
詫摩 和彦	たくま医院 院長	
佐田 悦子	アクア薬局矢上店	在宅医療部薬剤師
下屋敷 元子	長崎県看護協会	在宅支援事業部 部長
金子 和美	長崎県看護協会	訪問看護ステーション 管理者
増田 弓華子	聖フランシスコ病院	緩和ケア認定看護師
大町 由里	長崎市介護支援専門員連絡協議会	会長
山下 正洋	介護老人福祉施設牧島荘施設サービス課	長
宮地 登代子	元長崎市包括ケアまちななかラウンジ	主幹
高西 真美	長崎市地域包括ケアシステム推進室	係長
山口 典昭	長崎市包括ケアまちななかラウンジ	所長
松原 久美子	長崎市包括ケアまちななかラウンジ	



## 2. 緩和ケアカンファレンスへの参加について

がん診療連携拠点病院（長崎原爆病院・長崎みなとメディカルセンター）では、毎月、病院関係者以外の参加も可能な「緩和ケアカンファレンス」が行われています。

まちななかラウンジでは、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の推進を図るため、多職種間の顔の見える関係を作り、入院患者の在宅医療への移行や施設療養に向けた情報の共有及び移行後の適切なサービスの提供ができるよう、訪問看護ステーションの看護師と介護支援事業所のケアマネージャに参加を働きかけています。

現在、両職種の参加を促進するため、がん診療連携拠点病院からまちななかラウンジに届く「緩和ケアカンファレンス」の開催情報を、「長崎市訪問看護ステーション連絡協議会」と「長崎市介護支援専門員連絡協議会」の事務局に伝えて、各会員に提供していますが、両協議会会員以外の専門職で参加を希望する方は、がん診療連携拠点病院又はまちななかラウンジまでお問い合わせください。

### がん診療連携拠点病院緩和ケアカンファレンスの日程

#### ○長崎原爆病院

毎月第2金曜日 17:30～1時間程度（web参加可能）

#### ○長崎みなとメディカルセンター

毎月第2・第4火曜日 17:30～1時間程度（対面のみ）



## 3. 研修会のご案内

在宅医療各種課題検討会①「日常の療養支援」  
～認知症になっても住み慣れた地域で  
自分らしい暮らしを続けていけるように～

日時：令和6年9月4日(金) 19時00分～20時30分

場所：web開催（ZOOMウェビナー）

講師：医療法人昌生会 出口病院  
理事長兼院長 出口 之 医師  
座長：長崎市医師会 山口 達之 先生

第1回	内 容	講 師
19時00分～19時30分	認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていけるように	講演者 出口 之 医師 司会 山口 達之 先生
19時30分～20時30分	認知症になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていけるように	講演者 出口 之 医師 司会 山口 達之 先生

参加登録用  
QRコード



「QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です」

### 第1回多職種研修会

「元気なうちから手帳」活用事例PART③  
～病院から在宅へのACPの連携～

日時：令和6年9月12日(木) 19時00分～20時30分

場所：web開催（ZOOMウェビナー）

講師：事例1 済生会長崎病院  
石田 朱美 認知症看護認定看護師  
事例2 長崎みなとメディカルセンター  
緩和ケア外科 診療部長  
一瀬 浩郎 医師  
長崎みなとメディカルセンター  
根々 詩織 緩和ケア認定看護師  
座長：長崎市医師会 土屋 知洋 先生

令和6年度まちななかラウンジ第1回多職種研修会

テーマ 「元気なうちから手帳」活用事例PART③  
～病院から在宅へのACPの連携～

9月12日(木) 19時00分～20時30分  
申込締切:9月5日(木)

\*ZOOMウェビナー  
\*参加費 無料

講師：事例1 済生会長崎病院 石田 朱美 認知症看護認定看護師  
事例2 長崎みなとメディカルセンター 緩和ケア外科 診療部長 一瀬 浩郎 医師  
長崎みなとメディカルセンター 根々 詩織 緩和ケア認定看護師

座長：長崎市民生会 長崎市民生会 長崎市民生会  
院長 土屋 知洋 医師

長崎市包括ケアまちななかラウンジ  
〒850-0001 長崎県長崎市江戸町6-5  
Tel: 095-893-6621 FAX: 095-826-3021  
Email: machinnaka@muse.ocn.ne.jp



参加登録用  
QRコード

「QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です」

## 長崎市包括ケアまちななかラウンジ

医療・介護の相談受付 在宅医療・介護の連携支援

住所 長崎市江戸町6-5 江戸町センタービル2階

☎ 095-893-6621 FAX 095-826-3021 Eメール machinnaka@muse.ocn.ne.jp

開設時間 月曜日～土曜日 9:00～17:00（日曜・祝日・年末年始・8月15日はお休み）